

リンゴ園で採集されるカブリダニ類

福島県果樹試験場病理昆虫部
平成12～14年度試験研究成績書

1 部門名

果樹－リンゴ－病害虫防除
分類コード 04－01－23000000

2 担当者

岡崎一博・荒川昭弘・阿部憲義

3 要旨

1999年～2001年の8月下旬～9月上旬に、殺虫剤の削減を試みたリンゴ園（会津地方は慣行防除）からリンゴ葉を採集し、カブリダニ類の発生種を調べた。採集時、ハダニ類の発生は、いずれの地点もリンゴハダニが優占種であった。

- (1) 1999年、福島県果樹試験場内では、ハダニ類の優占種がナミハダニからリンゴハダニにかわりつつあった。ハダニ類の優占種が変化する中で、カブリダニ類の発生に変化は認められず、ケナガカブリダニ *Amblyseius womersleyi* が優占種であった。
- (2) 2000年は、福島市、保原町、梁川町、須賀川市および喜多方市の5園から採集できた。カブリダニ類の種を同定した結果、すべての地点でケナガカブリダニの発生が認められ、喜多方市を除く4地点では、ミヤコカブリダニ *A. californicus* の発生も認められた。
- (3) 2001年には、福島市、保原町、国見町、安達町、鏡石町、白河市、会津若松市および磐梯町の8園から採集できた。磐梯町を除く7園では、ケナガカブリダニが確認された。鏡石町では、ケナガカブリダニの他にミヤコカブリダニ、ミチノクカブリダニ *A. tsugawai*、イチレツカブリダニ *A. finlandicas* の発生が認められた。リンゴハダニが恒常的に問題になっている磐梯町では、ニセラーゴカブリダニ *A. eharai* とツツウカブリダニ *Typhlodromus vulgaris* が確認できた。
- (4) リンゴ園におけるカブリダニ類の優占種はケナガカブリダニであり、新たに採集された種いずれもハダニ類の捕食性天敵として期待できる。

4 その他の資料等

なし